

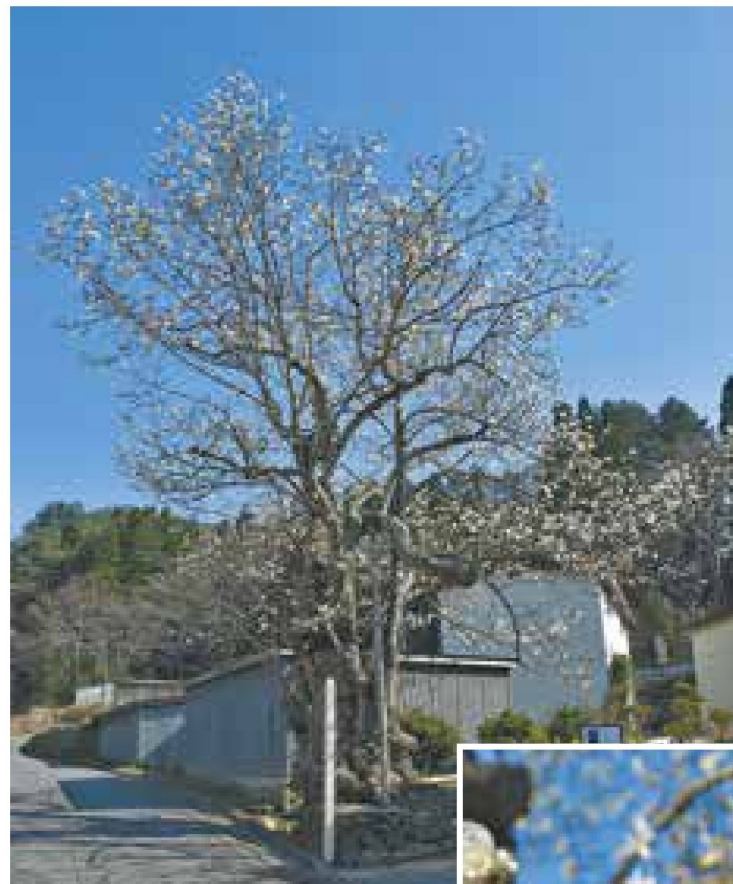
こぶし^きの木

- ◇ 指定日 昭和37年4月18日
- ◇ 所在地 赤前
- ◇ 所有者 個人

赤前地区にあるコブシは、節くれだった幹が堂々とした風格をもっています。高さ15m、幹の周囲4mと大きく、推定樹齢200年とされています。

内部は空洞になっていますが、樹木は樹皮のすぐ内側の部分で根が吸い上げた水分や養分などを枝や葉に送り、葉が光合成したものを幹などに送るので、幹が空洞であっても生長することができます。空洞の幹で巨体を支えているのは感動的な眺めといえます。花は白色で良い香りがあり、花びらは6枚です。

農家が田打ちをする4月頃に開花するのでタウチザクラとも呼ばれています。



こぶしの木の花